

TALK IN JAPANESE FOR 6 WEEKS

WEEKLY

日本語で話す 6 週間

book 1

【トレーニングのヒント】 (week4 編)

* トレーニングは、スポーツ感覚で体（口）に覚えさせましょう！

Unit 16 て形・「～てくれました」

* て形がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

* 「～てくれました」の文がすらすら言える (P65『練習しよう Q1』を口頭で行うトレーニング)

【用意するもの】

- ・特になし

【手順】

- ① p.63「言葉を増やそう」をクラス全体で行う。その際、て形も確認する。
- ②ペアになる。
- ③学習者Aが状況と人物を言う。
- ④学習者Bがリストの中から適切な語彙を選んで、「～が～てくれました」を使って後件を作る。

例)



Unit 17 「～ている人」

* 装着具・装着動詞を覚える。それらを組み合わせて正しい文がすらすら言える

【用意するもの】

・特になし

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aが p.67 「言葉を増やそう」の【色】、【柄／形】、【服】をランダムに選んで言う。
- ③学習者Bがそれらの語彙を使って適切な動詞とともに「～ている人」の文を作る。

例)



Unit 18 て形・ば形

* ば形がすらすら言える

(→ 「トレーニングのヒント (活用編)」 参照)

Unit 19 「～ばかりしていると…」

* 「NばかりVている」の文がすらすら言える

【用意するもの】

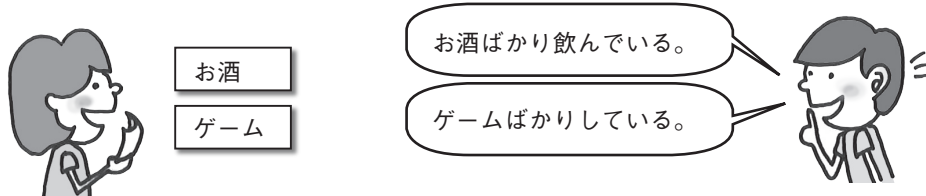
・下記のような、「NばかりVている」を作るために必要な語彙や表現を書いたタスクカード。

例) 「お酒を飲む」「ゲームをする」「お菓子を食べる」

【手順1】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aがタスクカードのうち名詞部分を言う。
- ③学習者Bが「NばかりVている」の文を作る。

例)



【手順2】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aがタスクカードを読む。
- ③学習者Bが「NばかりVていると、……。」の形にし、後件を考える。

例) 学習者A: 「お菓子を食べる」

学習者B: 「お菓子ばかり食べていると、病気になりますよ。」

Unit 20 「～ところなんです」・「～と伝えてください」

* 「～ところなんです」の文がすらすら言える

【用意するもの】

- ・特になし

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aがp.78「答えてみよう」下部の表現などを言う。
- ③学習者Bが「ちょうど～ところなんです」の文を作る。

例) 学習者A:「シャワーを浴びます」

学習者B:「ちょうどシャワーを浴びるところなんです。」

学習者A:「テレビをしています」

学習者B:「ちょうどテレビを見ているところなんです。」

学習者A:「家に着きました」

学習者B:「ちょうど家に着いたところなんです。」

* 「～と伝えてください」の文がすらすら言える

【用意するもの】

- ・特になし

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aがp.81「練習しよう」Q2の伝言部分や、p.144の「トレーニング20」などを見て、伝達部分を言う。
- ③学習者Bが「～と伝えてください」の文を作る。

例) 学習者A:「後でメールを送ります」

学習者B:「後でメールを送ると伝えてください。」

学習者A:「いい仕事が見つかりました」

学習者B:「いい仕事が見つかったと伝えてください。」